

## 平成24年度「ストップ温暖化 県民アクション」(大人版) 結果報告

参加者:7,621人(前年度比11.7%増)、CO2削減量:531g/日・人

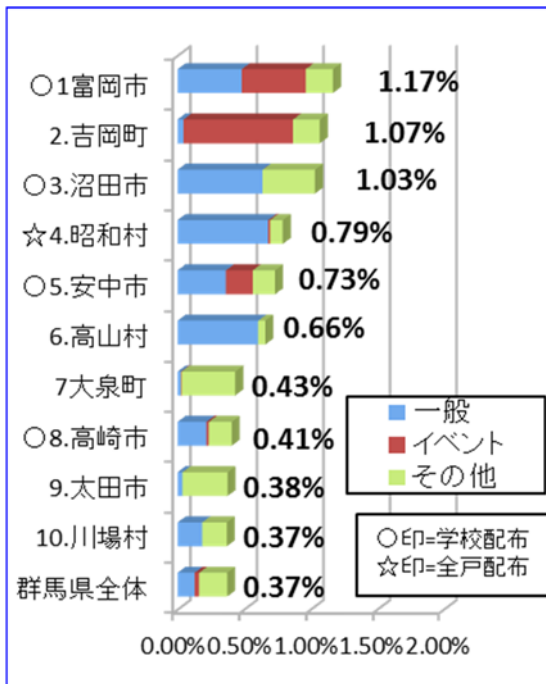
県の平成24年度「ストップ温暖化 県民アクション」の取り組みが2月で終了しました。

平成24年度の応募参加者数は、のべ7,621人で昨年の6,825名に比べて、参加人数で796名、11.7%増加しました。CO2排出の削減量は531g/日・人で、国の目標値:1kg/日・人の50%強削減したことになります。はがき応募件数を県人口で割った参加率は0.37%で、前年より、0.06%アップしました。

参加率の高い市町村は右の図の通りで、富岡市が1位となりました(昨年8位)。出前講座の時に記入してその場で提出していただいたこと、児童・生徒さんの参加が多かったことが要因と言えます。

今年度は、5つの市の教育委員会を通じて、小中学校の児童・生徒さん、先生全員に配付し、児童・生徒さんには家庭に持ち帰って保護者の方と一緒に行動をチェックし、応募してもらうこともお願いしました。また、今年度は、全ての市町村住民の方から応募していただくことができました。これも、推進員さんの地域における働きかけがあったからだと思います。ありがとうございました。

多くの県民の方から、3日間の行動をきっかけに、地球に優しい生活を意識し、行動するようになった等のコメントをいただきました。



平成24年度ストップ温暖化県民アクション応募結果(市町村別参加率上位10市町村)

## 「家庭の節電・省エネ推進プロジェクト」

## 出前講座を1,000人超の方が受講！

県から「家庭の節電・省エネ推進プロジェクト業務」を受託し、推進員さんのご協力をいただきながら、夏・冬の家庭における節電・省エネに取り組みました。

具体的には、①「ぐんまちゃんのじょうずな節電・省エネ アクション」リーフレットの作成(夏用・冬用)、②節電・省エネ指導者講習会の開催(6回、124人が受講)、③節電・省エネ出前講座への講師派遣(計53回実施、派遣講師:10人)を行いました。各地で行った節電・省エネ出前講座には、1,142人ももの県民の方の参加がありました。県民の皆さんの「節電・省エネ」意識の定着、行動に貢献できたと思います。ご協力、ありがとうございました。

25年度も「節電・省エネ出前講座」を行う予定です。推進員の皆さんには引き続き、地域への出前講座開催の呼びかけと講師の引き受けをお願いします。

## 群馬県の一人一日当たりのごみの排出量は、ワースト3位(平成22年度)

最新の環境省統計データによると、群馬県の平成22年度の一人一日当たりのごみの排出量は1,077gです。前年度の1,096gから19g改善(削減率:1.7%)されましたが、ワースト3位(生活系ワースト2位)で、相変わらず、低位にあります。全国平均の22年度は976gで21年度の994gから18gの改善(削減率:1.8%)でした。

汚名返上のため、継続して周りの人たちに、大量消費・大量廃棄の生活からの脱却、ライフスタイルの見直しを働きかけていきましょう。



都道府県別一人一日当たりのごみの排出量ワースト10(平成22年度)〔環境省統計データより〕

## ◆◆◆ 25年度から推進員さんの活躍の場が増えます！ ◆◆◆

◎推進員の皆さん、23・24年度の活動、ご苦労さまでした。

◎25年度は推進員さんの委嘱替えの年です。25年度、委嘱を受ける方は、今まで以上に活躍する場が増えることになります。推進員さんに関わる国の事業が行われ、①地域におけるCO2排出実態の調査、②地域の温暖化防止活動団体の活動調査などをお願いすることになります。詳細は追ってご案内します。



このページでは、各地で活躍されている群馬県地球温暖化防止活動推進員さんの活動を紹介しています。今回は、社内で温暖化防止活動に取り組まれている推進員さんを紹介しします。産業部門から(株)インフォマテックヨシヤの金子宣之さんに、運輸部門から(株)群馬バスの今井保さんに登場していただきました。

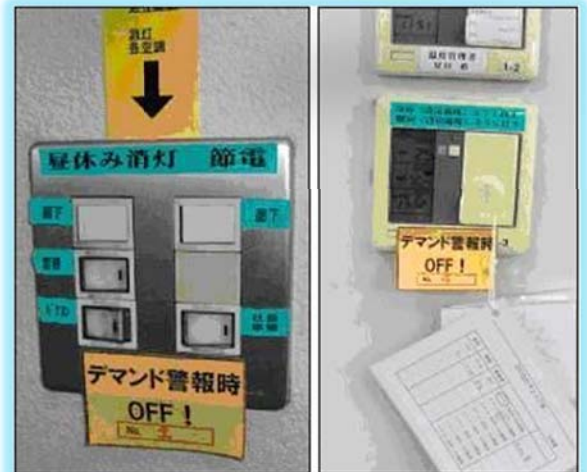
### 出来ることを無理せずに！――金子 宣之さん〔(株)インフォマテックヨシヤ:桐生市〕

私が勤務している(株)インフォマテックヨシヤは、従業員14名の桐生市にある「環境計量証明事業所」および「作業環境測定機関」です。

弊社は、環境マネジメントシステム エコアクション21 (E A 2 1) に「認証・登録」しています。また、E A 2 1のシステムを活用して「環境G S (ぐんま・スタンダード) 認定制度」にも認定されています。私の社内での担当はE A 2 1の事務局と環境G Sのサブマネージャーです。

弊社では「無理せず、お金をかけず」をモットーに「使わない電灯のスイッチは切る」、「冷暖房の設定温度を控えめにする」などを環境活動計画に掲げました。特別なことをするのではなく、できることを無理せずに取り組む「ちょっと工夫して、ちょっと前進」というスタンスです。

私はE A 2 1事務局としてまた温暖化防止活動推進員として、「節電」や「節水」などの掲示の作成や毎月の電力、ガスなどの使用量のチェック、月間及び年間のまとめを作成し社内報告会で発表して来ました。出席したセンター主催のセミナーの内容を報告会で発表したこともあります。昨年は群馬県地球温暖化防止活動推進センターから「ワットメーター」をお借りしてコピー機などの消費電力のチェックを行いました。また、いただいた資料やイベントの案内などを受付カウンターに掲示したりしています。



電灯のスイッチには「昼休み消灯」、エアコンの操作スイッチには「設定温度」と「管理者」を表示

### エコドライブ～アイドリングストップ

――今井 保さん〔(株)群馬バス:高崎市〕

私は産業運輸部門の温暖化防止推進員として、微力ながら活動をさせて頂いております。

私共は主に自動車を使用する仕事でありますので、エンジンから排出される二酸化炭素(CO2)が温暖化に多大な影響を与えており、環境悪化を防ぐためにアイドリングストップを励行するため、各事業所においてアイドリングストップバスを導入してCO2削減を図っているところです。

皆様もご承知とは思いますが、アイドリングストップが理想的に行われると14パーセントの燃費が向上すると言われております。

エンジン再始動時にかかる燃料と5秒間エンジンを停止することで、節約される燃料の量がほぼ等しいことから5秒以上停止する場合はアイドリングストップした方が燃料消費が少ないとされています。また、1日10分間アイドリングストップすると乗用車でCO2排出量が約120キログラム削減されます。

このようなことから大型バスは乗用車の何倍ものCO2を排出しており、アイドリングストップを励行してCO2排出予防に努めております。

又、自動車メーカー主催のエコドライブ講習会に参加して、座学及び実技運転による通常運転時と燃料節約運転時の燃料削減を実感させCO2削減の意識付けを図っています。更に、3ヶ月毎に実施している全体研修会においても、温暖化防止のためのエコ講習を実施して、仕事上、職場、家庭での削減を図るべく活動をしております。

今後も地球温暖化防止に向けての活動の一端を担っていきたいと思っております。



会社内での研修会における温暖化防止についての講義状況



# 第17回こどもエコクラブ交流会を開催しました

県内のこどもエコクラブの交流を深めるとともに、活動成果の発表を通じ、今後の活動をより充実させることを目的に開催しました。

今年度は、新たに前橋市児童文化センターを会場にして行われました。

○日時 平成25年1月19日(土)12:20~15:40

○会場 前橋市児童文化センター:前橋市西片貝町

○参加者 ・こどもエコクラブ(9クラブ) ・緑の少年団(前橋市時沢小学校緑の少年団、児童6名)  
計157名

○交流会の実施内容

## ・こどもエコクラブ活動発表

9つのエコクラブの子どもたちが、一年間取り組んできた活動の成果をステージで発表しました。多くのクラブがプレゼンテーションソフトを使って発表していました。中には劇で昔と今の環境意識の違いを演じるクラブもありました。どのクラブも自分たちが普段の環境保護活動にどんなふうに取り組んでいるかがよく分かる発表でした。無理せず、自分たちができるところをできるだけ取り組むエコクラブの良さを活かして活動してくれていました。



## ・前橋市時沢小学校緑の少年団活動発表

前橋市立時沢小学校が学校生活の中で行った活動を発表してくれました。ヘチマを使った緑のカーテン作りやサルビア、マリーゴールドをプランターに植えて運動会の会場や赤城ヒルクライムの沿道に飾ったりしたそうです。



## ・壁新聞、絵日記、体験ブースの見学、館内エコ施設ツアー

集まった子どもたちを2つのグループに分け、壁新聞、絵日記、体験ブースの見学グループと館内エコツアーグループに分け、活動しました。前橋市児童文化センターは、自然光の取り入れや屋上緑化、太陽光発電パネルの設置など環境に配慮し、それを活かした施設になっていました。



## ・おもしろ科学実験

地域の科学実験教室で活動されている湯本先生ほか5名の方によるおもしろ科学実験を行いました。内容はペットボトルの顕微鏡作りでした。ペットボトルとガラスビーズを使って簡単に顕微鏡が作れました。さらにレプリカ法でプレパラートを作りました。観察した子どもたちは、歓声を上げ大喜びでした。

## ※こどもエコクラブとは？

こどもエコクラブは、平成7年度に制度が創設され、幼児から高校生までならだれでも参加できる(財)日本環境協会がサポートする環境活動クラブです。県内では現在、32クラブ3,027名が登録されています。サポーターと呼ばれる大人たちと一緒に、学習会や環境調査、生物調査、農業体験、清掃活動などに自主的に取り組んでいます。

(群馬県環境政策課 松村)

## 平成25年3月31日をもちまして委嘱期間が満了となります(御礼)

平成23年5月24日から、平成25年3月31日までが今回の群馬県地球温暖化防止活動推進員の委嘱期間となり、任期満了まで残すところあとわずかとなりました。

平成24年度群馬県地球温暖化防止活動推進員 活動報告書(平成25年3月12日(火)期限)につきましては、多くの推進員様からご報告いただき、ありがとうございます。

これまでに提出された活動報告書等を、今後の推進員支援業務の参考にさせていただきます。

約2年間、推進員のみなさまにおかれましては、日頃より地球温暖化防止活動にご尽力くださいまして誠にありがとうございました。

この場を借りて御礼申し上げます。



今後もお住まいの地域・お勤め先等でご活躍くださるようお願いいたします！



群馬はクルマでチャレンジ

## エコドライブ伝道マイスター決定しました

昨夏より事業展開してきた「群馬はクルマでチャレンジ」コンソーシアム事業も、2月末の燃費シート提出締め切り後、集計作業を進めた結果、エコドライブ伝道マイスターが決定しました。多くの人に広めてくれた方、伝道された人たちのCO2削減量の多かった方、まろごと営業車で取り組んでくれた方、社内に伝道人を3名もそろえてくれた会社、といった3名1社を、3月7日に表彰しました(詳細はホームページをご覧ください)。受賞者からは、エコドライブ講習を受けて「こんなに減るんだ！」と驚き、その感動を周りの人に熱く語った伝道の様子が報告され、この事業の成果が実感できました。

伝道人は99名誕生し、伝道人からやり方を教わった方は500名以上、燃費シートの提出も400枚以上と、かなりの好成績でした。伝道人になられた推進員さんは10名ほどで、こちらは企業や行政の方が多かったです。

25年度は「エコクッキング」をテーマに引き続き伝道人方式でのコンソーシアム事業を予定しています。現在企画案提出中、本格始動は6月頃ですので、詳細は次号で！



ご存知ですか？あなたの家のCO2はどこから出てる？

## 24年度「うちエコ診断」事業終了・25年度診断員募集のお知らせ



今年度の環境省委託事業「家庭エコ診断基盤整備事業」は、2月15日をもって群馬県内診断目標100件に対し、達成率100%で診断を終了しました。残念ながら、推進員さんからの受診申し込みは2件だけに終わりましたが、行政の推進員さんや昨年度受診された推進員さんでも受診者の呼びかけをしてくれた方も何人かおられました。

推進員さんにはまず自宅のCO2排出の現状を知ってほしかったのですが、この2年間の委嘱期間中に受診された推進員さんは十数名と、さびしい結果となりました。

25年度も「うちエコ診断」は継続の予定ですので、ぜひ推進員さん自らの受診をお願いしたいですし、すでに受診された方は、次はぜひ診断員に立候補していただきたいと思います。4月中頃には詳細が決定しますので、診断員になってみたい方は、お早めに事務局までお知らせください。

## 「推進員の集い」、これからも続けます！

推進員さんも思いはいろいろ、考え方も様々。推進員の集まりの場、交流の場が欲しい！そんないろいろな意見が出る中で24年度から始まった「推進員の集い」です。



25年度も、パワーアップして継続する予定です。どうぞお出かけください！きっと新しい出会い・展開がありますよ！

事務局でも、試行錯誤しながら、少しでも推進員さんの活動支援ができればと考えておりますので、皆様からの忌憚のないご意見をお寄せください。集いについてでも、開催日のご希望でも、企画提案でも、相談でも苦情でも、なんでもお寄せください！メール [info@gccca.jp](mailto:info@gccca.jp) お待ちしております。

### ◇センターのホームページをご覧ください

ホームページURL <http://www.gccca.jp/>

### ◇センターの集いに参加しませんか

センターでは、毎月センターに集まって、地球温暖化防止活動に限らず、みんなでテーマを出し合って、よろず語り合い・情報交換を行っています。どなたでもご参加できます。

**4月は現在企画中。**日程、テーマが決まり次第、センターホームページやメルマガでお知らせします。メルマガ登録がまだの方は、メールアドレスをセンター( [info@gccca.jp](mailto:info@gccca.jp) )へお知らせ下さい。

### センターからのお知らせ

#### 編集・発行

群馬県地球温暖化防止活動推進センター  
〒371-0016 前橋市城東町2-3-8  
TEL : 027-237-1103 FAX : 027-232-1104  
MAIL : [info@gccca.jp](mailto:info@gccca.jp)

群馬県環境政策課  
〒371-8570 前橋市大手町1-1-1  
TEL : 027-226-2817 FAX : 027-243-7702  
MAIL : [kanseisaku@pref.gunma.jp](mailto:kanseisaku@pref.gunma.jp)

